

# カリキュラム

コースコード：21-138

中小企業大学校 直方校

タイトル	会計情報活用講座・1月（博多）				
サブタイトル	1日で学べる収益改善のポイント				
研修のねらい	<p>中小企業を取り巻く経営環境の不確実性が増す中、コロナショックのような状況に見舞われても企業を維持・発展させていくためには、自社の経営状況を正確に把握し、会計情報を意思決定に活かして経営課題解決に取り組み、利益を生み出すことが重要です。</p> <p>本研修では、会計情報から経営課題を可視化して現状を客観的に把握することの重要性や会計情報を自社経営に活用する視点を身につけます。また、現状の財務構造からどのようにして収益性を改善するのが演習を交えて学びます。</p>				
研修のポイント	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会計情報が経営にどう活かせるかを学べます。</li> <li>・損益・収支分岐点の基本が学べます。</li> <li>・会計情報を活用した収益改善の方法が学べます。</li> </ul>				
日程	2022年1月13日（木）	日数	1日	時間数	6時間
対象者	経営者、経営幹部 ・会計情報を経営に活かしたい方 ・管理会計の基本を学びたい方 ・収益性改善の方法を知りたい方	定員	30名	受講料	16,000円
		会場	TKP博多駅前シティセンター (福岡市博多区博多駅前3-2-1 日本生命博多駅前ビル8F)		

## プログラム

月日	時間	科目	内容	講師
1/13 (木)	9:10~9:30	開講式・オリエンテーション		
	9:30~11:30	管理会計の基礎知識	会計情報を経営に有効に活用した企業の事例から、経営のための会計について検討します。 ・財務会計と管理会計 ・貸借対照表（B/S）と損益計算書（P/L）の見方 ・財務上重要な用語の定義・解説 ・ケースに基づくB/S及びP/Lの分析	アジア太平洋マネジメント 代表 青木 道生
	11:30~12:30	会計情報の実践的活用法	管理会計の重要性を理解した上で、モデル決算書を用いて、現状の収益構造の把握や損益分岐点分析の仕方を学びます。 ・管理会計の考え方と取り組み方（部門別・商品別・地域別・取引先別） ・損益分岐点の算出方法と考え方 ・P/Lのケースに基づく損益分岐点の実務的活用方法 ・キャッシュフロー（CF）の基本（ケース演習）	
	13:30~15:30			
	15:30~16:30	利益・資金計画の必要性と計画実行のポイント	利益・資金計画の必要性を理解した上で、計画に沿った管理の仕方を学びます。 ・利益・資金計画とは ・計画の実現性を高める管理のポイント ・自社に求められる適正利益水準の考え方	
	16:30~16:40	終講式		

## 講師紹介

氏名	略歴
青木 道生 （あおき みちお） アジア太平洋マネジメント 代表	ロサンゼルス、カナダ留学を経て、金融機関勤務。アジア太平洋マネジメント代表、（株）アジア太平洋トレーディング代表取締役、その他複数社の取締役を務める。 金融・財務及び企業再生のコンサルタントとして、多くの企業の再生に携わる。中小企業大学校（広島校・直方校・人吉校）講師、全国の商工会議所や行政機関及び上場企業を含む民間企業での講義・講演を多数務める。 特に指標や比率に依存しない決算書の読み方は、初心者にも分かり易いと定評があり、机上の空論ではない、実務的見地からの財務分析を実践する。

## 備考

※12:30~13:30は休憩時間となります。  
 ※カリキュラムは都合により変更する場合があります。予めご了承ください。